

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載  
【部門区分】第 1 部門第 2 区分  
【発行日】平成 17 年 10 月 27 日 (2005.10.27)

【公開番号】特開 2004-65795 (P2004-65795A)  
【公開日】平成 16 年 3 月 4 日 (2004.3.4)  
【年通号数】公開・登録公報 2004-009  
【出願番号】特願 2002-232163 (P2002-232163)  
【国際特許分類第 7 版】

A 6 1 M 25/01

【F I】

A 6 1 M 25/00 4 5 0 F

【手続補正書】  
【提出日】平成 17 年 7 月 28 日 (2005.7.28)

【手続補正 1】  
【補正対象書類名】明細書  
【補正対象項目名】特許請求の範囲  
【補正方法】変更  
【補正の内容】  
【特許請求の範囲】  
【請求項 1】

先端側に配置された線状の第 1 ワイヤと、  
前記第 1 ワイヤの基端側に配置され、前記第 1 ワイヤの構成材料より弾性率が高い材料  
で構成された線状の第 2 ワイヤとを備え、  
前記第 1 ワイヤと前記第 2 ワイヤとは、溶接により連結され、  
前記第 1 ワイヤおよび前記第 2 ワイヤの外径は、前記第 1 ワイヤと前記第 2 ワイヤとの溶  
接部より基端側の位置から前記溶接部を跨いで前記溶接部より先端側の位置まで、先端方  
向へ向かって漸減していることを特徴とするガイドワイヤ。

【請求項 2】

前記第 1 ワイヤと前記第 2 ワイヤとの接続端面は、両ワイヤの軸方向にほぼ垂直になって  
いる請求項 1 に記載のガイドワイヤ。

【請求項 3】

前記第 1 ワイヤと前記第 2 ワイヤとの接続端面は、両ワイヤの軸方向に垂直な平面に対し  
傾斜している請求項 1 に記載のガイドワイヤ。

【請求項 4】

前記第 1 ワイヤと前記第 2 ワイヤとの接続端面は、凹面または凸面になっている請求項 1  
に記載のガイドワイヤ。